

2020年(令和2年)

3月27日  
(金曜日)

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN

# 建設未来通信

茨城全県版

発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3  
桂ビル2階  
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854  
<https://www.kensetsumirai.co.jp>

新聞購読料 月額6,000円(税別)  
電子版購読料 月額1,500円(税別)

ホコタ設計コンサルタンツ株式会社



本社 / 銚田市安房1571  
つくば / つくば市稲荷原1-41 <http://hokota.co.jp/>

[kensetsumirai.co.jp](http://kensetsumirai.co.jp)

茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階 建設未来通信社 TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854

## 3次元MC導入 ICT舗装の施工見学会 安全性の確保と生産性向上へ期待

主催:小貫建設 協力:関東道路・西尾レントオール



会場は県筑西土木事務所発注の「31国補地道第31-03-488-0-004号道路改良工事」(結城市芳賀崎)の現場。県道筑西三和線のバイパス整備を行っている。今回の見学会は受注者の小貫建設(結城市、小貫勝重代表取締役)が主催。下請企業として関東道路(株)(筑西市、武藤正浩代表取締役)と西尾レントオール(株)が協力した。

はじめに、西尾レントオール(株)栃木営業所の茂木泰孝ICT施工専任営業課長がICT舗装に

県土木部発注の工事現場で16日、ICT建設機械の施工見学会が開催された。県土木部検査指導課や県筑西土木事務所、県企業局の職員など約20人が参加。3次元マシンコントロール(MC)のICT建機による舗装工事を見学し、最新技術への理解を深めた。

おける3次元設計データやMCの概要を資料をもとに解説。

続いて、関東道路が導入したMCグレーダーによるICT舗装工を見学。3次元設計データ通りに自動的に排土板が制御され施工の様子を見た参加者は「熟練度に頼らず品質確保ができる」「多くの現場で活用されるようになるのでは」などと感想を述べた。また、初めてMCグレーダーを操作したオペレーターは「操作を覚えれば、経験の



浅い若手や女性でも高精度の施工が可能」と話した。

小貫代表は県内でも施工が少ないMCを活用した舗装工事について「丁張や検測が軽減され人員も削減できる。作業中の安全性も高まる」と人手不足対策と生産性向上に期待を寄せる。

関東道路ではICT建機のグレーダーとフィニッシャーを導入しており、自社購入したのは県内初。武藤代表は「舗装工事はミリ単位の精度が必要。ICTの活用によりさらに精度を上げ将来につなげていきたい」と語り、3次元レーザースキャナーの導入も検討中とのこと。

i-Constructionでは、3次元データの蓄積による維持管理への利用や品質向上への活用などが進んでおり、ICT舗装工もさらなる品質管理の効率化が研究されている。